第 4 回 西九州隣県空手道交流大会　監督会議資料

1. 全ての試合、マウスシールドもしくは不織布のマスクを着用する。
2. 男子も、寒い場合は空手着の下に無地の白シャツの着用は可とする。
3. 女子選手の髪飾りは禁止とし、ゴムも黒や紺等の目立たない色の物のものを使用する。
   また、安全面からヘアピン等の使用も禁止する。

4. 形試合について
   ①　得意形に入るまでは赤白のフラッグ方式とする。　幼年の場合は全試合フラッグ方式で行う。
   ②　予選で、白・黄色帯（無級・8 級以下）と対戦する場合、平安初段のみとする
   緑帯（6，7 級）と対戦する場合、平安初段と二段のカード選択
   紺帯以上（5 級以上～有段者）で対戦する場合は、平安初段から鉄騎馬初段のカード選択
   ③　個人・団体とも決勝戦では得意形とする。　予選で打った平安形を繰り返しても良い。

5. 組手試合について
   ①　白・黄色帯（もしくは無級・8 級以下）は基本組手とする。
   引分けの場合、同じ右技で再試合し判定を行う。
   また、本人が自由組手を希望する場合、自由組手への変更は可能。
   基本組手で反撃時の加撃は反則。　程度に応じ「警告」「注意」「反則」あるいは「失格」を宣告する。
   ②　個人、団体共に自由組手の試合時間は 1 分 30 秒（フルタイム）で行う。
   個人戦で引き分けの場合、先取り再試合を行う。
   ③　上段への加撃は反則を厳しく取る。
   ④　団体戦で 2 名の場合は先詰めとし、大将は不戦負とする。
   ⑤　団体戦で勝ち数が同じ場合の勝敗の判断は、《第一位》一勝ち（反則勝ち、失格、棄権、場外・無防備の反則勝ちを含む)、《第二位》合わせ一本勝ち、《第三位》判定勝ちの順位の勝ち数で判断する。　それでも勝敗が決しない場合は代表者戦を行うが、個人戦と同様にて勝敗を決する。

6. 監督は、選手と同じ空手衣を着用し監督の腕章を左腕に付けること。
   リュック、ウエストポーチ等の携帯は禁止とします。(パンフレットと筆記用具のみ可能)
   大声での指示は禁止とします（コロナ感染対策）